

<資料4>

令和3年度 藤枝市行政サービス評価委員会

地方創生事業（推進交付金）事業総括表

藤枝市

地方創生推進交付金事業

No.	事業名	計画期間	事業数
1	I C Tで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト	H28～R2（5か年）	6
2	静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト	H30～R2（3か年）	1
3	藤枝版コンパクト+ネットワーク型C C R C 高齢者が活躍するまちづくり	R1～R3（3か年）	17
4	大学を中心に、人と産業を育てつなぐ若者定着推進計画	H2～R4（3か年）	15

<事業総括表>

地方創生推進交付金事業（H28～R2）

ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト

■事業概要

ICT活用により、地元企業の持続的な成長の基礎づくり、若い世代が働きたい就業環境づくりを進め、将来を担う人材を育成することで、魅力ある「しごと」と輝く「ひと」を生み出し、地元での就職やU I Jターンを希望される「稼ぐ力のあるまち」を目指し、移住・定住を促進する。

事業の推進主体として産学官連携により「藤枝ICTコンソーシアム」を設立し、ICT活用に精通した人材育成や、地域内中小企業のICT活用促進、また時間や場所を選ばずに仕事ができる新しい働き方を提供するクラウドソーシングサービスを進める。

「ICT人材の育成」「地元産業の競争力向上」「働き方改革」の3本柱により、企業収益を改善し個人所得の向上を図ることで、地元に着住する移住者をさらに増加させる好循環を生み出していく。

特にクラウドソーシングについては、仕事及びワーカーの確保が重要となるため、地元企業からの仕事の発注促進に加えレベルの高いワーカー育成に主眼を置き、仕事の質と量の確保に努める。

■事業実績（KPI）

※実数値ベース

No.	KPI名		H28	H29	H30	R1	R2
1	20～30代の転入者数（人）	目標値	2,758	2,817	2,894	2,988	3,106
		実績値	2,571	2,539	2,628	2,577	2,483
		達成率	93.2%	90.1%	90.8%	86.2%	79.9%
2	クラウドソーシングによるしごと創出数（件）	目標値	0	30	118	177	266
		実績値	0	52	183	234	314
		達成率	-	173.3%	155.1%	132.2%	118.0%
3	地元企業でICTを新たに導入した企業数（社）	目標値	0	4	12	18	24
		実績値	0	8	22	34	27
		達成率	-	200.0%	183.3%	188.9%	112.5%

■事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
1	交流型 I T キャンプ事業	論理的思考力や本市への愛着心向上を図るため、藤枝市・島田市の小学校4～6年生を対象に、ドローンやロボットを活用した短期集中型の I T ・プログラミング学習を実施する事業。令和2年度はコロナ禍の影響により、予定していた中山間地域でのキャンプを形態を変えて実施した。（宿泊取り止め）。	3,850,000	ICT推進室
2	藤枝クラウドソーシング運営事業	時間や場所を選ばない働き方を推進し、主婦層などの潜在的な労働力を活用すると共に、市内企業の生産性の向上を図るため、市民や市内企業が仕事を受注するクラウドソーシング事業を推進する藤枝 I C T コンソーシアムに対して補助金を交付する事業。令和2年度は市内企業と連携した受注体制を構築し、大型案件の受注につなげた。	33,500,000	ICT推進室
3	オープンスペースの設置	クラウドソーシングを活用して働く市民の活動支援スペース（業務の相談・P C を用いた研修・情報共有など）やワーキングスペースとして利用可能な場所の確保を行う藤枝 I C T コンソーシアムに対して補助金を交付する事業。また、必要機器（P C 等）の貸出窓口の常設も行い、仕事ができる環境の提供を行った。	4,000,000	ICT推進室
4	地元産業 I C T 導入促進事業	I C T 導入による業務の効率化や各種補助金の活用方法、企業のニーズに応じたセミナーの開催など、地元企業へのコンサルティング活動により I C T 導入の支援を行う藤枝 I C T コンソーシアムに対して補助金を交付した。令和2年度は、延べ311社に訪問し、I C T を導入した企業は27社であった。	10,000,000	産業政策課
5	データ利活用に向けたスマートシティ推進事業	児童生徒及びその保護者が、安全で安心して生活できる環境を整備するため、I o T 端末を利用し、児童生徒の位置情報を保護者がスマートフォンで確認できるサービスを提供する事業者に対して補助金を交付し、初期導入費用に対する保護者負担を軽減する事業。令和2年度は、240件の補助金を交付した。	1,200,000	教育政策課
6	I o T 活用促進事業	行政課題解決に向け、先端技術を持つ民間企業と共同実証実験を行う事業。令和2年度は下記実証実験を実施した。 【オンライン健康医療相談アプリ】 24時間365日、スマートフォンを通じた相談に対し、医師・看護師等が回答。 【食生活提案アプリ】 食料品の購買履歴から A I が栄養素分析し、最適な食生活を提案。 【藤枝地区の人流解析及び蓮華寺池公園の混雑状況可視化】 藤枝地区まちづくりへ人流データ活用、センサーによる公園混雑状況可視化。	5,449,000	ICT推進室
総事業費			57,999,000	

<事業総括表>

地方創生推進交付金事業（H30～R2）

静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト

■事業概要

「しずおか中部」における広域での交流人口の拡大を図るため、平成29年3月に本地域を活動エリアとした地域連携DMO（観光まちづくり組織：事務局（公財）するが企画観光局）を立ち上げ、5市2町の地域資源を活用した新たな観光商品開発や情報発信の強化により、圏域全体の観光まちづくりを推進した。

①圏域全体での情報発信・ブランドプロモーション

- ・SNSを活用した個別資源の紹介、観光商品のプロモーションの実施
- ・テレビや雑誌等の取材により圏域を紹介し、誘客を促す

②3つのテーマに基づいた個別地域資源の開発

- ・「Learn」…交流からの学びと変化、成長に満ちた場所の提供
- ・「Tea」…お茶を通じて多様な対話を生む仕組みのある場所の提供
- ・「Sea」…海産物を活かした地域グルメ開発の支援

③市場調査・KPIトラッキング

- ・市場調査の実施、旅行者の観光行動のニーズ分析の実施

■事業実績（KPI）

※実数値ベース

No.	KPI名		H30	R1	R2
4	宿泊観光経済（千円）	目標値	2,898,000	3,355,000	4,286,000
		実績値	3,429,765	3,370,381	2,498,348
		達成率	118.3%	100.5%	58.3%
5	宿泊客数（千人）	目標値	126	145	179
		実績値	149	146	108
		達成率	118.3%	100.7%	60.3%
6	中部5市2町の観光目的地としての認知率（%）	目標値	0.0050	0.0055	0.0060
		実績値	0.0020	9月頃	0.0000
		達成率	40.0%	—	0.0%

■ 事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
7	静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト	<p>①情報発信・ブランドプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSやインターネットを活用するとともに、マスメディアも利用して、茶氷事業に絡めて本市の地域資源に係る情報発信を行った。 <p>②個別地域資源の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Learn」…体験学習を提供できる事業者との調整及び、商品造成を実施。体験型プログラム「Manaviva!」が開始し、本市からは3事業者が参画（全体では23事業者参加）、また、オンラインスクール「at home MANAVIVA!」も開始され、本市から1事業者（全体では4事業者参加）が参画し、プログラムの提供を行った。 ・「Tea」…本市事業者による「茶氷」（お茶を使ったかき氷）事業への参画（本市から3事業者参加）や、農家による「茶の間」（茶畑での喫茶）事業の調整を行った。 <p>③市場調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットにおいて、不特定多数の方が観光目的地として5市2町の施設等を思いつく割合の調査等を行った。 	3,700,000	商業観光課
総事業費			3,700,000	

<事業総括表>

地方創生推進交付金事業（R1～R3）

藤枝版コンパクト＋ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり

■事業概要

市民誰もが生涯にわたって生き生き暮らし、活躍するまちを目指し、本市が有する健康への市民意識の高さや充実した地域包括ケア体制、ICTなどの強みを基盤とした「暮らし」、「雇用」、「健康」、「交流」の4つを柱に、いつまでも健康で活躍できる場や安全便利な暮らしの提供を行う。

暮らし：お試し移住、首都圏PR、空き家活用、移動支援、買い物支援

雇用：就労支援（人材活用・育成）、仕事・人材マッチングサポート、玉露ブランド承継プロジェクト

健康：健康経営プロジェクト、回想法による生きがい創出、健康&スポーツ

交流：街なか多世代交流、生涯学習

■事業実績（KPI）

※実数値ベース

No.	KPI名		R1	R2	R3
7	事業を通じた移住者数（人）	目標値	74	81	89
		実績値	86	86	
		達成率	116.2%	106.2%	0.0%
8	事業を通じた高齢者の新規雇用・就労者数（人）	目標値	5	15	25
		実績値	4	18	
		達成率	80.0%	120.0%	0.0%
9	健康経営プロジェクト参加者数（人）	目標値	80	130	180
		実績値	127	252	
		達成率	158.8%	193.8%	0.0%
10	街なか多世代交流事業参加者数（人）	目標値	40	120	144
		実績値	67	0	
		達成率	167.5%	0.0%	0.0%

■ 事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
8	デュアルライフ推進事業	オンラインでの移住相談会への参加やオンラインセミナーを実施し、地方暮らしに関心のある者に対し、本市での暮らしの魅力を紹介するとともに移住相談を実施。アクティブシニア世代には市街地や中山間地域での暮らしの違いや免許返納後の移動手段についてなどの相談対応を行った。また、若い世代にはオンライン相談後のメールでの個別相談を実施した。	344,800	中山間地域活性化推進課
9	高齢者活躍等サポート事業	地域づくりと地域の課題解決を図る公益的な事業を実施する市民活動団体に対し「市民活躍まちづくり事業補助金」を交付した。 高齢者活躍支援：65歳以上の会員5人以上かつ2/3以上所属する団体が実施する事業または高齢者の生涯活躍、自立した暮らしを応援する事業。	745,000	市民活動団体支援室
10	「出かけっCAR」サービス支援事業	加齢に伴い移動が困難となった高齢者の外出支援を目的として、4地区で市社会福祉協議会に委託する形で、地区社会福祉協議会及び地域住民が主体となってサービスを実施。地域のスーパーマーケットやドラッグストアへの送迎だけでなく、利用者の買い物中の支援も実施した。	2,683,768	地域包括ケア推進課
11	買い物支援サービス応援事業	高齢者を中心とした買い物に困難を抱える人の買い物環境の改善や利便性向上に取り組む民間団体等の事業に対して支援を行う。令和2年度は、移動販売の実施や商店の運営などを行う市内商店街振興組合や民間事業者に支援を行った。	2,166,000	商業観光課
12	中山間地域買い物弱者サポート事業	中山間地域における高齢者を中心とした買い物に困難を抱える人の支援を目的とし、藤枝ボランティアが商店での買い物の代行や地域の法人・地域と連携した商店手の買い物を見守る支援を実施した。通年で事業実施したが、見守り支援は新型コロナウイルスの感染拡大防止により回数を減らして実施した。	405,500	市民活動団体支援室

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
13	高齢者人材活用支援事業	キャリアコンサルタントやファイナンシャルプランナーによる高齢者が長年培ってきた知識や経験の生かし方を学ぶ「高齢者向け支援セミナー」を開催した。また、高齢者の活用事例や支援策を学ぶ「企業向け高齢者活用セミナー」や「面接会」、「シニアインターンシップ」を開催し、高齢者の人材活用と雇用の確保の創出に繋げた。	899,910	産業政策課
14	シルバー世代雇用支援事業	包括連携協定を締結している㈱セブン-イレブン・ジャパンと連携し、高齢者の活躍と、来客の高齢化によるニーズへの対応という双方の課題解決に向け、高齢者の雇用を促進するための説明会を開催し、高齢者の活躍機会の創出に繋げる計画であったが、新型コロナウイルスの影響に伴い、開催予定が立たず、事業を中止した。	0	産業政策課
15	仕事・人材マッチングサポート推進事業	少子高齢化、人口減少に伴う企業の構造的な人手・人材不足を補うため、令和2年度は、仕事・人材マッチングサポートディレクターによるBPO（業務外部委託）発注事業者と受注事業者とのマッチングの促進、高齢者と市内企業との就職相談会を開催し、多様な働き手の活躍機会の創出に繋げた。	7,620,580	産業政策課
16	朝比奈玉露承継プロジェクト事業	朝比奈玉露を次世代に継承するための事業として、摘み子の募集及び、摘み子に対して玉露の摘み方について説明会を開催した。 （摘み子の派遣、玉露のうまい淹れ方コンテストは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。）	48,928	お茶のまち推進室
17	ふじえだ健康経営プロジェクト	市内中小企業の従業員やその家族の健康づくりを支援するため、静岡県、藤枝商工会議所、岡部町商工会と連携して市内中小企業への健康経営の実践と普及を進めた。 また、事業所が主体的に健康経営を始めるためのツールとして作成した「健康経営ガイドブック」を商工会議所、商工会の会員事業所に配布した。	3,132,800	健康企画課

No.	事業名	事業内容	事業費(円)	担当課
18	シニア世代が活躍する博物館回想法事業	地域で暮らすシニアが生き甲斐をもって元気に暮らせるよう、藤枝市郷土博物館の収蔵資料を活用しながら、シニア世代が昔の事を思い出し、楽しく語り合うことによって脳を活性化させる地域回想法の取り組みを引き続き実施した。コロナ禍の影響もあり半年間の休止があったが、一般シニアを対象とした回想法サロン「藤枝おもいでサロン」を12回開催し、サロン運営の端緒をつけることができた。併せて、回想法ボランティア向けの中級研修「回想法ステップアップ研修」を3回実施し、延べ216名の参加を得た。	199,185	文化財課
19	スポーツ&健康フェスタ開催事業	年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむとともに、健康に対する意識を高め、生涯にわたり健康で活力ある生活を築くきっかけづくりを目的とし、スポーツ&健康フェスタ実行委員会が、ニュースポーツ・障がい者スポーツ等の体験、健康チェックやリハビリ相談を行う健康コーナー、親子でできるヨガ体験、こどもの運動発達・姿勢の悩み相談、総合型地域スポーツクラブの活動紹介を実施する。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。	0	スポーツ振興課
20	地域で活躍する人材育成事業	生涯を通じた学びによって自己実現を図り、様々な形で社会参画する人材を育成するため、住民の学びの意欲に応えた講座や多様な学習機会を提供する。	382,659	生涯学習課
21	いきいき生涯学習・リカレント教育推進事業	高齢者が社会参加する場所を見つけて「生きがい」を感じることにつながるような学習機会の提供を静岡産業大学に委託した。①「個人の自立のための学び」②「地域参画・社会貢献のための学び」③「生活の基礎である情報通信技術の学び」、④「死生観に関する学び」の4種全19講座を8月～2月に実施し、延べ479人が受講した。	2,849,830	生涯学習課
22	高齢者活躍のまちづくり推進事業	「雇用」「暮らし」「健康」「交流」の4つの柱で実施している事業やこれから実施する事業の情報をできる限り早く、幅広い市民に周知し、事業全体を一体として推進していくための周知PRを実施。令和2年度は、協議会の代替措置として、藤枝市地域福祉懇話会において、事業の説明と事業についての意見を聴取した。	277,257	福祉政策課
23	お試し移住事業	中心市街地への移住を検討しているアクティブシニアを対象に、CCRCモデル実証地区内の「サービス付き高齢者向け住宅」を活用した1週間程度のお試し移住体験を実施予定であったが、メインターゲットが首都圏であったことから、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となった。	0	中心市街地活性化推進課
24	街なか多世代交流推進事業	高齢世代や子育て世代など幅広い世代の交流機会を創出する講座、各種イベント等を中心市街地内のCCRCモデル実証地区において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により未実施となった。	0	中心市街地活性化推進課
総事業費			21,756,217	

<事業総括表>

地方創生推進交付金事業 (R2~R4)

「大学を中心に、人と産業を育てつなぐ」若者定着推進計画

■事業概要

地域産業の成長支援とこれを担う人材育成を一体的に進め、雇用対策と地域定着を推進するため、街なかでの大学等の教育機能の拠点化や首都圏からの学生還流を進めることで活動量を増加させ、多くの学生と地域企業との交流や地域課題研究等を通じて、本市の魅力を知り愛着を感じ地元定着する大学生を増やすとともに、大学進学前の高校生を含めてキャリア教育を実施し、職業観や郷土愛を醸成することにより、高校生や大学生の流出を緩和し、地域定着に繋げる。また大学等の知見を活かし理論と実践を合わせた実学による人材育成により、目まぐるしく変化する社会にも自らの力で対応できるビジネスリーダーとなる人材、またSociety5.0にも順応しICT時代を自ら切り拓くことができる人材を育成し、地域企業とのマッチングを図る。併せて、学生から社会人、高齢者まで学びたい人が学び、就業に繋げる「再チャレンジできる環境づくり」により、意欲ある人材がその能力を活かして働くことができる環境を整備し、地元企業の労働力確保へと繋げる。加えて、大学、企業、行政等が連携しICTを活用したオープンイノベーションを促進し、ベンチャー企業等によるソリューション提供により、IoT技術の発展と地域産業の活性化、豊かな暮らしの実現に寄与するとともに、地域企業の業務革新、多分野におけるデータ活用を促進する。

■事業実績 (KPI)

※実数値ベース

No.	KPI名		R2	R3	R4
11	市内大学から地域企業に就職した学生の割合 (%)	目標値	4.0	5.6	8.0
		実績値	5.3		
		達成率	132.5%	0.0%	0.0%
12	事業を通じて地域企業に就職した市内学生のうち、就職3年以内の定着率 (%)	目標値	80	85	90
		実績値	100		
		達成率	125.0%	0.0%	0.0%
13	オープンイノベーションマッチング数 (件)	目標値	3	4	5
		実績値	5		
		達成率	166.7%	0.0%	0.0%
14	市内大学への志願者数 (人)	目標値	296	316	356
		実績値	485		
		達成率	163.9%	0.0%	0.0%

■事業内容

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
25	革新的人材育成事業	これからの時代を自ら切り拓き、地域を担う人材を育成するため、単位外で大学生を対象に人材育成を行う大学等に対して補助金を交付する。 令和2年度は、静岡産業大学が、静岡産業大学及び静岡理工科大学の1年生計19名に対し、「アカデミック」「ビジネスデザイン」「グローバル」のビジネススキルに特化した3講座を実施した。	3,000,000	企画政策課
26	未来型スキル教育支援事業	地域企業の生産性と持続性を高めることを目的とし、企業のニーズに即したICTスキルと専門知識を有する人材を育成するために、ICT活用能力やマーケティングスキル、プロジェクト運営力等を学ぶことが出来る研修を開催し、ICT人材の育成を支援する藤枝ICTコンソーシアムに対し補助金を交付。令和2年度は、15講座、54本のコンテンツから成るカリキュラムを提供し、49名が参加。	7,000,000	I C T 推進室
27	社会人等リカレント教育事業	社会人のスキルアップや、就業を希望する者の学びのニーズに応えるため、大学の知見を活かしたビジネスに役立つリカレント講座を行う大学等に対して補助金を交付する。 令和2年度は、静岡産業大学、静岡理工科大学が各専門性を活かした「社会人大学講座」「社会人ビジネス講座」を実施し、計105名が参加した。	3,000,000	企画政策課
28	小中学校職業観育成事業	児童生徒の職業観を育成するため、静岡大学協力のもと、I C T を活用し、県外の企業の開発部門や企画部門の担当者と児童生徒をつなぐ遠隔授業を市内小中学校で実施する事業。令和2年度は、市内小中学校5校で食品、人材派遣、ゲーム開発、医療器機、日用品製造の5社と遠隔授業を実施した	351,876	教育政策課
29	高校生大学生による小中学生創造力育成事業	ロボットづくり等の体験を通して、科学技術に興味のある児童生徒を増やし、創造力・問題解決力を高めるため、大学等と連携し各種講座を開催する事業。令和2年度は、静岡大学や静岡産業大学、静岡高校と連携のもと小中学生を対象にしたロボットづくり講座やプログラミング講座を開催した。	2,007,053	教育政策課

No.	事業名	事業内容	事業費（円）	担当課
30	科学探求心育成事業	科学や技術開発に興味を持つ子どものすそ野を広げ、未来を切り拓く力を育成するための講座、小学校1, 2年対象の「コズミックカレッジ」、3, 4年生対象の「わくわく科学教室」5, 6年生対象の「少年少女発明クラブ」を実施した。更にウイズコロナの巣ごもり対策として「ふじえだ科学チャンネル」と題し、在宅児童、生徒達にも科学を届けた。	2, 330, 792	生涯学習課
31	女子学生まちづくり事業	地元の女子高生・女子大生で構成する「ふじえだガールズ・ミーティング」のメンバーが民間企業等と連携し、首都圏に向けてまちの魅力を発信し、若者の地域への人の流れを創出する。令和2年度は、参加したメンバー20名が、「つなげよう！Fun & Fan!」をテーマに、藤枝スイーツマップの作成や、シティ・プロモーションCMの制作などに取り組み、活動を通じた若い女性ならではの視点による施策を市長へ提言した。	2, 475, 000	企画政策課
32	地域政策研究・創造事業	大学の知的資源の地域への還元を図り、地域の発展に寄与するため、地域課題の解決に向けた方策の提言又は実践的な研究を行う大学に対して、補助金を交付する。令和2年度は、地域課題の解決に向けた政策研究を行った包括連携協定を結ぶ3大学（静岡産業大学、常葉大学、静岡県立大学）に対して、補助金を交付した。	3, 499, 000	企画政策課
33	ICT人材マッチング事業	未来型スキル教育支援事業で育成したICT人材と地域企業の就労マッチングを目的とし、企業と参加者の交流の場を提供する藤枝ICTコンソーシアムに対し補助金を交付。令和2年度は、コロナ禍に対応し、企業紹介動画作成やSNSによる意見交換環境を構築し、オフライン・オンライン両面での交流機会を創出。	2, 000, 000	ICT推進室
34	学生が地域企業を知る魅力探索事業	大学生の地元定着と地域産業の活性化を図るため、学生が地域企業への理解を深め、学生と企業とのマッチング支援を行う大学等に対し補助金を交付する。令和2年度は、藤枝市産学官連携推進協議会が、WEB企業説明会・交流会やキャリア形成セミナーを実施した。	3, 000, 000	企画政策課
35	行政サービスオープンイノベーション推進事業	ICTを活用した市民サービスの質の向上や市内産業の革新、多様なアイデア、ノウハウ・技術の集積を目的に、各課が抱える地域課題や社会課題に対し、全国より企画提案を公募し、実証実験を行う事業。令和2年度は、選考の結果5テーマにおいて採択し、実証実験を実施。	7, 938, 750	ICT推進室

36	大学ネットワーク会議	地域の大学と市が繋がりを深め、共に圏域の学生を育て、地元で活躍の場をつくっていくためのプラットフォーム「大学ネットワーク会議」を創設する。 ※本事業は協議の場とし、連携事業は各々で予算措置して実施することとしたため、事業費の執行なし。	0	企画政策課
37	首都圏大学との連携促進	首都圏からの若者の流れを創出するため、首都圏大学が本市におけるフィールドワークとまちづくりへの提案を行う還流促進事業に対し補助金を交付する。 ※本年度はコロナの影響により、全てオンラインで実習等を行ったため、事業費の執行なし。	0	企画政策課
38	大学同士が連携した共同講座の開催	大学生が他大学の講座を受講することで新たな知識を獲得し、視野を広げるため、各大学が持つ専門的知見を活かした講座（リレー形式による共同講座）を行う大学に対し補助金を交付する。 ※本年度はコロナの影響で実施を見送ったため、事業費の執行なし。	0	企画政策課
39	教育活動拠点化支援事業	本市への若者を中心とした人の流れを創出するため、大学の活動拠点として市内にキャンパス等を設置し、本市を拠点に教育活動を行う大学に対し、補助金を交付する。	836,000	企画政策課
総事業費			37,438,471	